



← 揖斐川

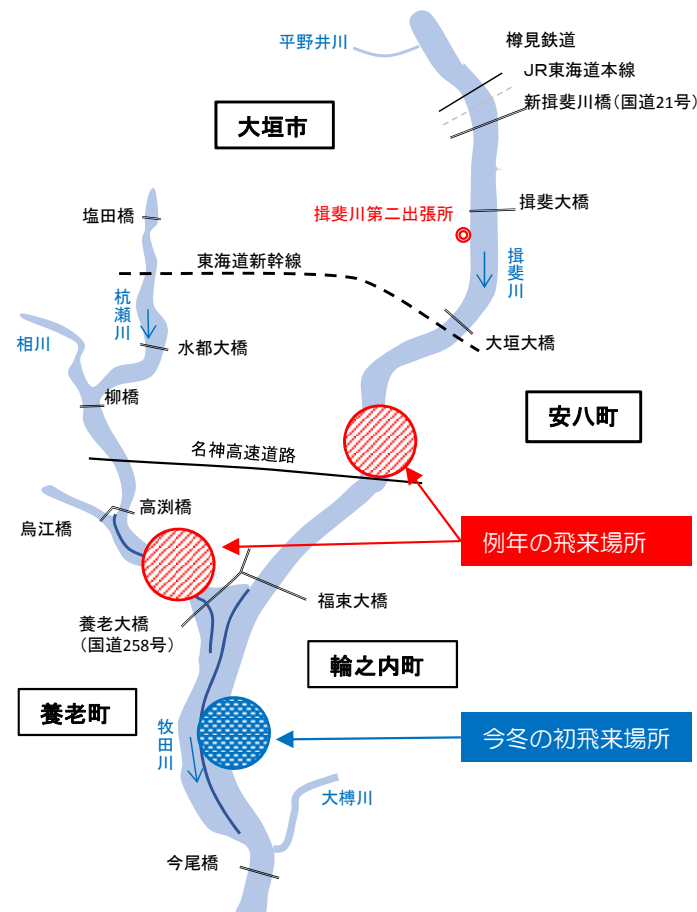
水面で羽根を休めるコハクチョウ = 揖斐川30.6Kp付近（輪之内町塩喰地先）

シベリアから冬の使者 『揖斐川にコハクチョウ初飛来！』

- 揖斐川中流部で12月27日（土）、コハクチョウ3羽が飛来しているのが確認された。昨冬に比べて約3週間早い初飛来となった。国土交通省揖斐川第二出張所の河川パトロールを務める臼井正文河川巡視員がこの日の朝、揖斐川に飛来してきたのを確認した。

臼井さんは「例年、年明けの1月中旬頃に初飛来してくるが、こんな早い時期に見るのは初めて。毎年、揖斐川では名神高速道路より上流でコハクチョウの姿を見掛けるが、今年はそれより5キロ下流の場所」と首を傾げ、「昨年12月は例年より寒かったので、早めに飛来してきたのかも知れない。あまり一般的に知られていないが、揖斐川中流部はコハクチョウの姿を間近で見られる川なので、多くの人に観察に来てほしい」と話した。

例年であれば、2月末頃まで見られるという。





カワウの営巣地付近で水面を泳ぎ回るコハクチョウの群れ 〓 輪之内町塩喰地先

撮影：平成27年1月11日

コハクチョウQ&A

出典：米子水鳥公園ホームページなど

Q1. コハクチョウってどんな鳥？

A. コハクチョウはカモ科の水鳥で、体長120cm、翼を広げると190cmにもなる大きな鳥です。「日本書紀」や「出雲風土記」にも登場し、日本人が昔から愛し、なじみ親しんできた鳥です。日本で見られるハクチョウには、コハクチョウと、より大きなオオハクチョウの2種類がいます。

Q2. 色の違うハクチョウがいるけど？

A. 灰色のハクチョウは、夏にロシアのツンドラ地帯で生まれた子供のコハクチョウです。親鳥と同じ大きさですが、まだ産まれてから一年経っていません。それでも5000kmもの距離を渡って日本へやってきました。

Q3. ハクチョウは何を食べるの？

A. ハクチョウは主に草食です。おもに水草、その他の草の根、実などを食べます。

Q4. ハクチョウは何年くらい生きるの？

A. コハクチョウの寿命は、10年くらいと言われています。



仲睦まじく泳ぐコハクチョウの親鳥と雛鳥
撮影：平成27年1月11日